

# 2018-19年度ライオン誌日本語版委員会 第4回会議 報告書

日 時：2018年10月9日(火) 13:30～16:00

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事	佐藤 義雄 (長野県・戸倉上山田ライオンズクラブ)
国際理事	安澤 莊一 (福島県・白河小峰ライオンズクラブ)
委員長	矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズクラブ)
編集長	稲岡 敬弘 (332複合地区／秋田ライオンズクラブ)
委員	渡辺 和廣 (330複合地区／山梨県・甲府シティ ライオンズクラブ)
委員	渡辺 修 (331複合地区／北海道・美唄ライオンズクラブ)
委員	渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズクラブ)
委員	西川 恒彦 (334複合地区／静岡県・富士宮ライオンズクラブ)
委員	神崎 守 (335複合地区／京都やわたライオンズクラブ)
委員	椿 幸雄 (337複合地区／熊本火の国ライオンズクラブ)
一般社団法人専務理事	高橋 克文 (千葉県・船橋翼ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	莊 英隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズクラブ) ※オンライン
ITアドバイザー	小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエスト ライオンズクラブ) ※オンライン



矢野委員長の開会あいさつに続いて、佐藤国際理事と安澤国際理事からあいさつと国際関係報告が、また高橋専務理事から一般社団法人関係の報告があった。佐藤国際理事は、会員減少傾向がなかなか止まらない現状を踏まえ、クラブの在り方や雰囲気など、ライオンズクラブの基本的な問題をもう一度考え直す時期ではないかと話され、安澤国際理事は、災害が多発している中、ライオンズ・アラート・プログラムも含め、災害への備えが重要になっていることに触れられた。また高橋専務理事は、一般社団法人の組織やウェブサイト作成など、ライオン誌委員会に関連する事項に関して現状報告をされた。その後、矢野委員長、稲岡編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

2018年8月度の収支計算書を元に会計担当者から説明があった。8月は本誌9・10月号の発行があり、収支共にライオン誌送料が計上され、紙媒体発行に関わる印刷費及び発送事務費が発生している。その結果、8月の収支差額は約120万円の黒字となり、累計では6,738,606円の収支差額が出ている。ただし、理事会費や事務費のうちの借室料及び水道光熱費などは、期末に精算するため、現状では執行額が計上されておらず、やや現況を把握しづらいものになっており、今後は委員会で現状把握が出来るよう予算額を割り振った値も参考に提示することとする。

### 2. 本誌関係

●2018年11・12月号（2018年10月20日発行）記事内容の確認

特集は「西日本豪雨災害」で、特に被害の大きかった愛媛、岡山、広島各被災地において、ライオンズクラブの活動に焦点を当てて取材をし、表紙も関連写真で構成した。また、この号に国際協会指定記事の「キャンペーン100」、グドラン国際会長公式訪問及び全国事務局員研修の取材記事を掲載し、「ライオンズを探せ」など一部記事を休載した。「国際理事日より：安澤荘一国際理事」、「編集室：稲岡敬弘編集長」。前回会議で矢野委員長から提案された北海道胆振東部地震の記事については、被災地区の331-C地区キャビネットが実施した炊き出し奉仕を中心とした支援活動取材し、ウェブマガジンで速報をすると共に、この号の編集に間に合ったため同じ記事を掲載している。

●今年度特集企画（案）

1・2月号は「レオクラブ」で、全国135のレオクラブの中からレオらしい活動に活発に取り組んでいるクラブ取材し紹介する他、会員構成や活動内容などに特色のあるレオクラブをピックアップし、原稿及び写真を提供してもらう。また全クラブを対象にアンケートを実施し、レオの現状を掲載する。

3・4月号は「小さな町のライオンズ（仮）」（稲岡編集長提案）で、各委員がこのテーマに合致するクラブの情報を出し合った。次回会議までにそれらのクラブの活動状況などを調べ、取材先や原稿依頼先を選定する。

5・6月号は「アラート・プログラム」（神崎委員提案）で、2月3日に335複合地区の主催で実施されるアラート・フォーラム取材し、そこで話し合われた内容を元に、現在、ガバナー協議会議長連絡会議で検討されている全国的なアラート組織の構想なども考慮しながら、企画内容を詰めていく。

7・8月号「私の考えるライオンズクラブ（仮）」（神崎委員提案）は、会議冒頭での佐藤国際理事の話とも共通するもので、退会防止に結びつくような魅力あるライオンズ・ライフの在り方を提示するため、ベテランから若手まで広く意見を集約してはどうかとの提案から始まっている。そこでまず、次の本誌1・2月号に提案趣旨と意見及び提言募集の告知を出し、集まったものを委員会で検討した上で、最終的な編集方針をまとめることとなった。提案者の神崎委員からは1回限りの特集ではなく、意見の交換や提言に対する反響も本誌に出し、建設的な議論に結び付くような形を考えてみていいのではないかと話があった。

### 3. ウェブマガジン関係

●2018年10月号（10月1日更新）出来

10月1日更新のウェブマガジン10月号の出来を確認した。

●2018年11月号以降台割案

ウェブマガジン11月号から2019年1月号の主要コンテンツについて、内容と取材経費が提出され、承認された。

安澤国際理事を通して11月10日に実施される335-D地区のGST糖尿病予防啓発ウォーク、また337複合地区から2019年2月8～9日に開催される第3回ライオンズクレスト・フォーラム全国大会への取材依頼があった。どちらも取材を承認し、ウェブマガジンの「ニュース」欄で速報すると共に、本誌「ライオンズ・インフォメーション」欄に掲載する。

●コンテンツ追加

前回会議で、LCIFに関して国内外の交付金事業を出来るだけ紹介した方がいいとの意見があり、LCIFに関するコンテンツをウェブマガジンに追加することが提案された。今回、

グローバルナビゲーションを含むその見積が提出され承認された。

#### 4. 主要記事予定

- 2018-19年度主要記事予定

現在まで決まっている主要記事予定を確認した。

- 2018年10～12月取材経費概算

10月から12月にかけての取材経費概算が提出され、検討の上、取材を承認した。

高橋専務理事から、取材経費及びウェブマガジンや本誌の制作費等について、一般社団法人の理事は1年ごとに替わり、根拠となる見積などの経緯が不明なため、それらの資料を提供してほしいとの依頼があり、デジタル化推進に関わる検討を行った一昨年度から、ウェブマガジンの構築に取り組んだ昨年度にかけての資料をまとめ提出することにした。

#### 5. ライオン誌日本語版の方向性

- 前々回の会議で問題提起があったライオン誌の方向性について、各委員が一人3分ずつ時間を取って考えを述べた。委員会としての意見は、「ライオン誌の役割は、国際協会の方針を会員に伝えること、優れた奉仕活動を紹介すること、非会員へのPR、ライオンズのブランド化などが挙げられ、その中で現在のライオン誌はウェブと本誌の両媒体を通じて過不足のないものになってはいるが、例え内容が良くても見てもらわなければ始まらない。そのための方策をどうしたらいいかが最大の課題である」「特集企画案検討の中でも触れられたが、現在は会員減少に歯止めを掛けるような内容、企画が求められている」といったことに集約された。この他、「最新のライオンズクラブ重要事項の解説」「クラブ役職者のマニュアル」「日本ライオンズのポータルサイトとしての役割」「読者会員との双方向性」など、さまざまな意見が出された。次回会議ではその中から、意見が多かった「見てもらう」「退会防止につなげる」という二つのキーワードに絞って議論し、その他の具体的な提案を含め更に検討を重ねることになった。

#### 6. その他

- 各地区から推薦を受けた新年度ライオン誌サポーター一覧の確定版と新年度サポーターによるアンケート結果が提出され確認した。

閉会あいさつ 矢野敏明委員長

#### 【次回以降委員会開催予定】

11月5日(月)	13:30～16:00	第5回会議	日本ライオンズ事務所
12月6日(木)	13:30～16:00	第6回会議	日本ライオンズ事務所

ライオン誌日本語版  
2018-19 年度収支計算書

2018年8月

(収入の部)

科	目	予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要
項	目					
購 読 料 収 入		91,796,000	9,533,050	19,015,200	72,780,800	
	国際協会補助金	37,716,000	5,039,400	10,027,900	27,688,100	
	会 費	53,880,000	4,493,650	8,987,300	44,892,700	
	翻訳料補助金	200,000			200,000	
ライオン誌送料		26,190,000	4,253,267	4,253,267	21,936,733	
広 告 料 収 入			247,282	247,282	△ 247,282	
そ の 他 収 入		780,000	34,473	421,558	358,442	
	頒布品収支差額	480,000	12,513	68,422	411,578	売上収入39,198円、諸経費△26,685円
	雑 収 入	300,000	21,960	353,136	△ 53,136	
特 別 収 入						
合 計		118,766,000	14,068,072	23,937,307	94,828,693	

## ( 支 出 の 部 )

科 目	予 算 額	当 月 執 行 額	累 計 額	残 高	摘 要
項 目					
直 接 出 版 費	52,277,600	8,151,528	8,210,986	44,066,614	
印 刷 費	15,480,000	2,562,840	2,562,840	12,917,160	注1
発 送 事 務 費	6,480,000	1,015,360	1,022,330	5,457,670	注2
ライオン誌送料	26,190,000	4,291,373	4,291,373	21,898,627	注3
旅 費 交 通 費	1,560,000	49,312	49,312	1,510,688	
編 集 関 係 諸 費	170,000	5,400	57,888	112,112	
原 稿 料 ・ 編 集 費	2,397,600	216,900	216,900	2,180,700	
広 告 関 係 諸 費		10,343	10,343	△ 10,343	
そ の 他					
テ レ ビ シ ョ ン タ ル 版 関 連 費	9,057,200	753,511	1,568,003	7,489,197	
旅 費 交 通 費	3,960,000	314,231	726,315	3,233,685	
原 稿 料 ・ 編 集 費	4,147,200	332,640	665,280	3,481,920	
サ ー バ ー 使 用 費	950,000	69,768	139,536	810,464	
そ の 他		36,872	36,872	△ 36,872	バックアップ用HDD3台購入
委 員 会 費	3,840,000	323,074	931,574	2,908,426	
旅 費 交 通 費	3,800,000	322,880	931,380	2,868,620	
会 議 費					
雑 費	40,000	194	194	39,806	
理 事 会 ・ 会 計 監 査 関 係 費	2,900,000			2,900,000	
理 事 会 旅 費	2,600,000			2,600,000	
会 計 監 査 旅 費	300,000			300,000	
事 務 費	49,863,200	3,641,399	6,488,138	43,375,062	
人 件 費	31,200,000	2,498,169	4,996,338	26,203,662	
福 利 厚 生 費	5,160,000	387,044	396,044	4,763,956	
旅 費 交 通 費	1,250,000	103,548	206,356	1,043,644	
通 信 費	1,340,000	275,462	332,440	1,007,560	注4
事 務 用 品 費	580,000	101,348	162,883	417,117	
函 書 費					
備 品 ・ 消 耗 品 費	50,000	3,936	3,936	46,064	
I T 関 連 費	1,340,000	228,528	340,416	999,584	注5
支 払 手 数 料	50,000	4,806	9,612	40,388	
顧 問 料	583,200			583,200	
保 守 ・ 修 繕 費					
借 室 料	7,500,000			7,500,000	
水 道 光 熱 料	400,000			400,000	
租 税 公 課	50,000			50,000	
減 価 償 却 費					
雑 費	360,000		1,555	358,445	
固 定 資 産 廃 棄 損 為 替 差 損		38,558	38,558	△ 38,558	注6
( 収 入 ) - ( 支 出 )	828,000			828,000	
当 期 収 支 差 額 金		1,198,560	6,738,606	△ 6,738,606	
合 計	118,766,000	14,068,072	23,937,307	94,828,693	

注1 9・10月号91,900部発行。@28.83

注2 9・10月号発送手数 個人発送(194クラブ・58,835冊)635,418円

クラブ発送(1068クラブ・31,852冊)318,600円

9・10月号掲載誌、有料誌、PR誌送料送料及び発送手数料他、61,342円

注3 9・10月号送料：個人発送@64×58,835人=3,765,440円、クラブ発送(1068件)525,933円

注4 2018年度上半期請求書送料198,769円を含む

注5 電子版ライオン誌作成システム年間使用料116,640円を含む

注6 2017年度国際協会補助金の未収入金予想額9,955,334円と8月3日に入金された9,916,776円の差額